

【研究主題】

一人一人が主役の学び
～自分で選び、自分で決める場を設定した学習を通して～

1 研究主題について

本校には、意欲が高く、様々なことに興味・関心をもって取り組める子どもが多くいる一方、正解を求めすぎて自信を失ってしまったり、できないと言い出せなかったりする子どもも多くいる。そのような子どもたちに、自分で選んだり決めたりする場を設定した学習を通して、試行錯誤しながら自分の課題を乗り越えていく楽しさを感じさせ、学びの主役は一人一人であるという気持ちをもたせたい。

本年度の名古屋市学校教育は、「ともに学び 自分らしく生きる」を努力目標に掲げている。その実現のために、ICTを効果的に活用し、一人一人の興味・関心、学習のペースや習熟度等に応じた学習（個別最適な学び）と、様々な人との学び合い（協働的な学び）を一体的に進める、子ども中心の学びを実践することが求められている。本校の学校努力点の目指す子どもの姿は、この名古屋市学校教育努力目標にも合致している。

本校では、令和元年度より「自分の考えをもち、なかまと学びを深める汐路っ子」というテーマで学校努力点に取り組んできた。話型の活用や机の配置の工夫、チャートやふせん、色カードなどの手立てを用い、自分の考えを発信したり、みんなの考えを取り入れたりするなど、協働的な学びに重点を置いた実践を行ってきた。また、令和4年度はICTを活用し、協働的な学びを効果的・効率的に行う実践にも取り組んだ。

本年度は、この4年間の研究成果を生かしながら、一人一人の興味・関心、学習のペースや習熟度等に応じた学習（個別最適な学び）に重点を置いた実践を行う。個別最適な学びの方法の一つとして、「自由進度学習」がある。「自由進度学習」とは、子どもが自分の興味・関心、学習のペースや習熟度等にしがって、自己選択・自己決定できる場を設けた学びのことである。「自由進度学習」を取り入れることで、学びたいことを自分で決め、学び方を自分で調整する経験を重ね、受け身の学びではなく、自ら進んで学ぼうとする子ども、つまり、「一人一人が主役の学び」を行う子どもの育成を目指す。

2 研究の方法

研究の構想

名古屋市教育センターが示す「自由進度学習」の3つの型を、学習の必要に応じて取り入れて実践する。

「自由進度学習」3つの型

